



▼やちち

## 市内ボーイスカウト4人が菊スカウト章を受章

八千代市ボーイスカウトの片寄颯人さん、渡辺美帆さん、齋藤俊一さん、大槻和希さんが、菊スカウト章を受章し、8月21日、市長を表敬訪問しました。菊スカウト章は中学生年代の最高位で、受章したスカウトは上級班長や班長として班員を指揮指導します。「修得した技能や精神を伝え、後輩の模範になりたい」と受章者たち。次は、高校生年代の最高位、富士章を目指します。



◀左から渡辺さん、片寄さん、秋葉市長、齋藤さん（大槻さんは欠席）

## 八千代ふるさと親子祭



今年のテーマは、「和」のもとに集まろう！。手筒花火のほかに、市民会館や市民体育館でも新たなイベントが行われ、多くの人が集まりました。



市民会館の「はいだしょうこファミリーコンサートwithいとうまゆ」。会場が一体となって歌や踊りを楽しみました。



多目的広場のステージでは、お笑いライブを開催しました。「ふるさと親子祭に〜、来た〜」と山本高広さん。



市営球場内でふんわりと浮かぶ熱気球に約400人が交替で搭乗。近くを走る東葉高速鉄道に向かって手を振る人も。



市民体育館の千葉ジェッツ対豊田通商ファイティングイーグルス名古屋の公開練習試合では、ジェッツが逆転勝ち。



八千代高校鼓組OBの音楽ユニット「打花打火」の演奏が、手筒花火と共にフィナーレを盛り上げました。



## 会員募集

- 蘭書道会 大筆の書から日々の暮らしに役立つ小筆まで、気軽に楽しみませんか。第1・3火曜日9時30分～12時、八千代台公民館。月1,500円。小森☎482-7449
- 八千代走友会 皆で楽しく笑顔で走りませんか。第1・3・5日曜日。八千代総合運動公園多目的広場集合（4月～10月は7時、11月～3月は8時集合）。入会500円、月300円。高橋☎080-3530-5319
- 3B体操・コアエクササイズ ストレッチと深層

会員募集は不定期掲載です。今号では、6月7日までに受け付けたものを掲載しています。

- 筋エクササイズで「マイナス5歳姿勢美人」。毎週金曜日14時～15時30分、市民会館ほか。入会1,000円、月3,000円。高橋☎090-6012-4518
- 土筆の会 書道を楽しみます。第2・4木曜日10時～12時、緑が丘公民館。入会1,000円、月1,500円。赤木☎458-4438
- グループ・びりじゃん 水彩画、油画デッサン勉強会。毎週火曜日13時30分～16時、勝田台南小学校。入会1,000円、月4,000円。神山☎486-3623



## リサイクル・ガイド

消費生活センター ☎485-0559

●この欄のお問い合わせは消費生活センターへ。受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時まで（午後4時～5時は☎483-1151へ）。

- 【あげます】 ▶置き畳4枚（正方形。1枚約0.5畳） ▶婦人用スーツケース（一泊二日用。色・ブルー） ▶各種洋服用生地（ダンボール2箱分） ▶子供用ゴルフ用具一式/バッグ（黒・ブルー）、クラブ6本 ▶運動靴2足（24.5cmと25cm） ▶自転車用空気入れ（圧縮ポンプ式）
- 【ゆずって/有料】 ▶ペット用シート（60cm×40cm） ▶調理用ミキサー

## 八千代歌壇

### 八千代市短歌会選

広報雑記帳から 行き交う人とのあいさつに、「暑いすねえ」の言葉が欠かせなかった今年の夏。高知県四万十市では観測史上最高の気温41度を記録し、東日本でも8月中旬の平均気温が観測史上最高の平年比プラス2.4度になるなど、記録的な猛暑となりました。9月は暑い日が続きながらも、徐々に気温も下がりがり、秋の気配を感じさせる月です。「スポーツの秋」、「芸術の秋」など、いろいろな言葉が使われる秋。趣味を楽しんだり、何かに打ち込んだりするのにもちょうど良い気候で、これからは景色も色づき、どーんと祭や市民文化祭など夏とは違ったイベントも多く開催されます。皆さんも、自分に合った様々な秋を楽しんでみませんか。

戦いの哀しみ知るやひまわりは歩調揃える兵士にも似て

音もなく湖面に穴をあけること雨は静かに近江に沈む

来し方のながきを憶う日暮どき日草の花殻を摘む

珍しき鉢花並ぶ門前に長靴の老女椅子にまどろむ

伽羅木の根方に群るる風知草金の裏葉がやさしく揺らぐ

梅雨明けの真つ新のとどく夏の陽に五キロの梅干す土用待

れ 向きあえば言葉かけたき向日葵の丈ひくく咲く顔はそれぞ

母と子の自転車並び走りゆく夕べの街に声響かせて

選評 一首目、元気に咲いているひまわり。可愛い子供達のようなひまわり。それを見ている作者に、兵士の姿が深い哀しみと共に見えてくる。歩調揃えてまっすぐに進む若い兵士達が。二首目、琵琶湖の広さ深さゆえに湖面の雨の音は聞こえないのであろうか。湖面に穴をあけている様に沈んでゆくという独特の感覚でとらえている。三首目、咲く時がきて咲く花の力を知っている作者。特別な感慨をうたっていないが落ち着いた情感があり上の句と下の句がしっくり合いもの想わせる。

## やちよ川柳

### 八千代川柳連盟選

眼鏡替えちがう世界を補給する 吉 橋 今別府文乃  
論戦の滑らかな舌 黒と白村 上 藤原 敏弘  
いらいらの元は夫の空手形 大和田新田 齊藤千恵子  
気付かない振りもマナーと心得る 勝 田 台 藤川 朝生  
うつの日の心を隠す厚化粧 勝 田 台 伊藤 良江  
こっそりと一味違う盗み酒 八千代台東 重森 文七  
古希祝う同窓生の若い顔 八千代台北 木村ゆり子  
フラッペと呼ぶと一〇〇円ほど出世 大和田新田 小高 吉弘